

長野県知事  
阿部守一様

日本共産党県議団 団長 毛利 栄子

### 9月県議会に向けた申し入れ

- 1、リニア中央新幹線工事は7月30日に多治見市の工事現場で、8月5日に飯田市のトンネル工事現場で、事故が繰り返され改善が見られません。安全対策を疎かにしているJR東海に対し、県として再発防止を再度強く求めてください。また、飯田の長野県駅(仮称)の予定地近くの橋梁工事に要対策土を使用する計画について、不安が広がっています。住民の不安や要望をJR東海に伝えるとともに、環境保全計画の修正を行う場合にはその不安や要望を受けとめ、環境影響評価技術委員会で検討を行ってください。
- 2、「信州子どもカフェ」(子どもの居場所づくり)やNPO法人フードバンク信州、または全県の子ども食堂などによって、生活困窮者への支援が行われていますが、食料を求めに訪れる方だけでなく、さらに深刻な状態におかれ、支援活動の場に行くことができない方々への支援の在り方についても検討してください。また、支援物資が集まらなくなっている一方で、食料支援を求める人が増えています。県も支援を強めるとともに、食料配布の体制を広げてください。
- 3、新型コロナウイルス感染症の法律分類が「5類」に移行されてから、医療支援の大幅削減、患者の負担増が医療現場で大きな問題となっています。国に対し医療提供体制の強化と共にコロナ対策への公的支援をひきつづき求めてください。県独自の支援策も講じてください。
- 4、6月定例県議会で知事は議案説明で、ホテルや旅館等の宿泊者に課税する「観光振興税」について2026年4月の導入を目指すと表明されました。また「事業者や市町村との丁寧な調整を進め、最速のスケジュールで取り組んでいく」としています。観光業界や市町村の関係者はもちろんですが、県民への増税につながる問題であり、県民的議論が必要です。拙速に導入ありきで実施すべきではありません。県民のアンケート調査など広く民意を求め、意見を聞く場を設けてください。
- 5、F・POWERプロジェクトは特に県が関わり補助金を出している事業で、その実態や運営状況の情報があまりにも不足しており、県民の不信が広がっています。情報開示を行い県民の不安払しょくに努め、開かれた林務行政を進めてください。
- 6、県内のガソリン価格が全国で最も高い状況が続いています。知事は県石油商業組合と意見交換し、県内のコスト増の要因などを組合と協力して分析し、過疎地や中山間地域への補助に向けて国に要請を検討する考えを示されました。その後の長野県としての分析結果と対策を県民に示し、責任を持った対応を進めてください。また、このガソリン代の地域間格差をなくすよう国に求めてください。
- 7、スーパーなどの店舗に米がなくなり価格も高騰し、深刻な混乱と不安を広げています。何故こうした事態に陥ったのか県としても実態・実情を把握し、関係者の声を聞き、県民へ納得のいく説明を行ってください。新米が出てくれば、解消されるとの政府の説明もありますが、局面打開のために政府に対し備蓄米の活用も含め、生産者団体や流通・小売業界と協力し、店頭に必要な米が回るよう、緊急対策を講じるよう求めてください。
- 8、県道や県管理河川の支障木、河岸崩落等、生活や安全上問題となっている場所への不安と維持管理への要望が強く寄せられています。改修の取り組みを強化するとともに、計画や見通しの情報も可能な限り明らかにしてください。